公明党議員団 政務活動報告書 第74号

平成31年 新春 号

大串ひろやす通信

調査なくして発言なしとは公明党の伝統です！会派の政務活動内容を定例会ごと通信としてご報告しています。読まれてのご意見、ご感想をお待ちしています！

ページ	コーナー	内　容
1	トップページ	◇ プラごみによる海洋汚染が深刻だ
2~3	本会議質問	◇ 廃棄型社会から循環型社会へ！ 優先順位のある３Ｒの推進を！
4	ちょっと教えて	◇ 公明党議員団として平成31年度予算要望を行いました！
4	朗　報	◇ 防災士資格の取得に補助制度ができました！！
	参　考	① プラごみゼロへ ② 優先順位のある３Ｒの推進 ③ もったいないを加えて

プラごみによる海洋汚染が深刻だ

荒川河岸に大量のプラごみ　東京農工大学教授 高田秀重氏の資料から

2016年国連環境計画は、「2050年、海に漂うプラスチックごみの重量は世界中の海の魚を全部合わせた重量を超える」と発表し、世界を驚かせた。海洋汚染のうち約8割をプラスチックが占め、生態系破壊の原因にもなっている。国連はこのプラごみによる海洋汚染を「温暖化問題に匹敵する世界的問題」であるとしたのだ。20世紀に入ると「魔法の素材」とも言われたプラスチック製品が開発され、一気に拡がった。「ビン入りの飲料類はペットボトル容器に変わり、紙袋がレジ袋に変わり、(中略)今やプラスチック製品で溢れている。プラスチックはインフラや医療の現場でも活躍するし、なくてはならないものであることも確かだ。しかし、その使い方を私たちはそろそろ見直すときだと、世界は警告している。(中略)私たちは今こそ、自分たちの『便利さ』の裏側に向き合う時だ。そうでなければそう遠くない未来、待っているのは『便利な暮らしの』がもたらす『消えないごみ』に支配されるかもしれない」(Days Japan 昨年11月号より)と。その通りである。私たちは今この問題に向き合い海洋プラスチック憲章(参考１)で掲げられた目標に向かって具体的かつ確かな道筋をつけるべきではないだろうか。

廃棄型社会から循環型社会へ

平成30年第4回定例会本会議質問
一般社団法人JEANよりお借りしたパネルを示して

参考1　2030年までにプラごみゼロへ

昨年８月に鎌倉市由比ガ浜にすでに死んでいたが生まれて3か月から6か月のクジラが漂着した。本来クジラの赤ちゃんはお母さんのミルクしか飲まない。それなのにおなかにはプラスチックがあったことが伝えらた。いかに海がプラスチックで汚染されているかということだ。神奈川県では、このことをクジラからのメッセージであると受け止め9月4日に「**かながわプラごみゼロ宣言**」を発表した。「プラスチック製のストローやレジ袋の利用廃止・回収などの取り組みを、市町村や企業、県民とともに広げていくことで2030年までにできるだけ早期にリサイクルされない廃棄されるプラごみゼロを目指します」と。県ではさっそく普及啓発用のクジラが泣いている缶バッジを作成し配布している。

一の2030年までにプラごみをゼロにするという目標は、今年6月カナダで開催されたG７シャルルボアサミットで「**海洋プラスチック憲章**」として採択された目標だ。日本とアメリカは残念ながら署名しなかったが、プラごみ削減への世界の目標と基準がここにできた。憲章には「2030年までに、プラスチック用品を全て、再利用可能あるいはリサイクル可能、またどうしても再利用やリサイクル不可能な場合は熱源利用等の他の用途への活用（リカバリー）に転換する」と。

神奈川県作成のバッジ

1。循環型社会を今こそ構築するべき。考え方は。

問 プラスチックごみによる海洋汚染が深刻であり、そのことが生態系破壊の原因にもなっている。このプラスチックごみの削減のためには①資源循環型社会への転換が必要であり、②廃棄物処理の優先順位を守った３Ｒの推進が重要である。そしてそのことは約20年も前に、国の法律にも区の一般廃棄物処理基本計画にも明確に記述されているのだ。そこで、改めて、区として資源循環型社会構築への基本的な考え方と今後の取り組みを問う。

答 〈区長答弁〉
廃棄物は都市の環境問題の原点であり、大量生産、大量消費、大量廃棄型社会から資源循環型社会への転換が今、最も問われていることだ。清掃工場を持たない千代田区は、３Ｒを推進しごみ削減・資源化に早くから取り組んできた。また、プラスチックについても、他自治体に先駆けて資源化に努めてきた。とりわけ、レジ袋をもらわない、必要ないものはもらわない、断るというリフューズは、大串議員が指摘の３Ｒに「もったいない」を加えた新しいＲだと認識をしている。使い捨てを覚えた便利な味から使い捨てが当然ではない社会というのを目指していく。

発行責任者　千代田区議会公明党議員団 大串ひろやす　〒102-0083　千代田区麹町2町目14-305　Tel/Fax 03-3221-1554　http://www.h-ogushi.com/

優先順位のある3Rの推進

2.「3R推進行動計画書」作成を提案する。所見は。

問 現在の区の計画「一般廃棄物処理基本計画」は名前が固く、内容もすべて「区が」となっており、区民の方には手にしにくい。３Ｒの推進は、区民と事業者そして行政が目的を始めノウハウや情報を共有し主体的に取り組むことが重要である。そこで、主語が、「区民」、「事業者」、「区」はとなるようそれぞれが取り組む自分たちの行動計画、（仮称）「千代田区３Ｒ推進行動計画書」の作成を提案する。タイトルは「千代田区３Ｒ推進ブック」、期間は「海洋プラスチック憲章」と同じ2030年としてはどうか。

答 〈環境まちづくり部長答弁〉
ご指摘のとおり、３Ｒ推進のためには、区民と事業者、行政がノウハウや情報を共有しながら取り組むことが重要と認識している。ご提案の（仮称）「千代田区３Ｒ推進行動計画書」策定のご提案については、みらいくる会議のご意見もいただきながら検討していく。

3.「もったいない」をキーワードに掲げて推進しては！

問 世界共通語となった「もったいない」という言葉は、今では一つの価値観として定着しつつある。３Ｒ推進のキーワードとして「もったいない」を掲げて取り組むことを提案する。所見は。

答 〈環境まちづくり部長答弁〉
ご指摘の「もったいない」を掲げての３Ｒの推進については、みらいくる会議のご意見もいただきながら検討していく。

参考2 優先順位のある３Ｒの推進を

国は、平成12年に循環型社会形成推進基本法を定め、大量生産・大量消費・大量廃棄型の経済社会から資源循環型社会へ大きな転換を目指した。法にはそのための具体的な方法が明記された。それは、廃棄物処理の方法とその優先順位を明確にしたことだ。①発生抑制(Reduce)、②再使用(Reuse)、③再生利用(Recycle)、④熱回収、⑤適正処分という順位を伴った方法だ。ここで注目すべきことがある。それはリサイクルと熱回収を別のものとしていることだ。海洋プラスチック憲章でも同様である。世界では熱回収はサーマルリカバリーと称しリサイクルとは別物としている。日本では法に明確に書かれた後も、なぜか、熱回収をサーマルリサイクルと称し、リサイクルする前に熱回収してしまっている。順番が逆だ。単純焼却と合わせると7割近いプラスチックが焼却されているのだ。このことがプラスチックの使い捨て、大量消費を許してしまう原因となっているのではないか。今こそ、国も自治体も優先順位のある３Ｒの推進を！

ちょっと教えて 朗報

力を合わせて「大好きな千代田」を一緒につくっていく！

昨年10月25日、区長へ平成31年度予算要望を行う

公明党議員団として、昨年10月25日に、「区民の声が届く区政の実現」を目指して区長へ平成31年度予算要望を行いました。その主な事業項目は、

①地区防災計画、タイムライン作成支援
②「子ども防災手帳」の作成
③国保会計への法定外繰入の継続
④都市マス改訂への住民の参加
⑤サービス付き高齢者向け住宅の整備
⑥フレイル予防の推進
⑦乳がん検診の拡充
⑧対話型美術鑑賞の小学校全校での実施
⑨路面下空洞調査の継続実施
⑩除票の150年保存へ
⑪選挙公報のテキスト化

など10分野39項目です。

千代田区障害者サポーター「ハートクルー」養成講座始まる！

昨年12月4日、第一回ハートクルー養成講座に参加
（左から大串ひろやす、米田かずや）

千代田区として、平成28年10月に「千代田区障害者の意思疎通に関する条例」を定め、障害者の方がもつ障害の特性に応じて合理的な配慮を行うことを定めました。とても大切な条例ができました。合理的な配慮とは、必要な配慮とは何か、誰もが正しく理解することが必要です。一番近くにいる隣近所の人や、「元気」と声をかけてくれる地域の人、困ったときに「何か手伝いましょうか」と手を差し伸べてくれる人が必要だからです。そこで、公明党議員団として、誰もが参加できる障害者サポーター養成講座の開設を提案し、今年度、千代田区障害者サポーター「ハートクルー」養成講座としてスタートすることとなりました。

編集後記

クジラが泣いているバッジ（参考１）を私は付けています。また、常にマイボトルとマイバックを持ち利用しています。嬉しいことがありました。それは近くのコンビニの入口のドアに「レジ袋削減にご協力ください」とのポスターが掲示されていたことです。消費者も企業も知恵と力を合わせ「プラごみゼロ」を目指し取り組みたいと思います。環境モデル都市である千代田区はそのリーダー的役割を！

大串博康

発行責任者　千代田区議会公明党議員団 大串ひろやす　〒102-0083　千代田区麹町2町目14-305　Tel/Fax 03-3221-1554　http://www.h-ogushi.com/